キャラクター名: "藤色の風"ルーク・ゴッドスピード

プレイヤー名:

種族	ハイマン	種族特徴	デジャヴ、魔法の申し子		
生まれ	練体士	性別	男	年齢	18
冒険者Lv	5	経歴	父親が旅に出ていた		
経験点	0		裏切られたことがある		
			有名人の友達がいる		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	8	器用度	6	4		18	3
		敏捷度	6	3		17 + 1	3
体	6	筋力	6	2		14 + 1	2
		生命力	5	1		12	2
心	13	知力	3	2		18	3
		精神力	4			17	2

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	5	アルケミスト	1
プリースト/ルロウド	3		
スカウト	1		
セージ	2		
エンハンサー	2		
バード	1		

戦闘特技			
追加攻撃	220 p		p
投げ攻撃	225 p		p
魔力撃	227 p		p
投げ強化	220 p		p
武器習熟/格闘	221 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	
マッスルベアー	
レクイエム	
パラライズミスト	

名誉アイテム	点数
聖印、専用化	50
アルケミーキット、専用化	50
ノノ・バニラッテ(友人)	100

名誉点 所持 0 /合計 200

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	5	8	8	7
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート		5+10	1	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	グラップラー	合計値		9	3

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イージーグリップ グラップラー専用、投げの命中率+1	2H	1	2	2d+ 10	12	8	20										
アクセルブローグ グラップラー専用	1H#	5+10		2d+ 8	10	8	20										
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
俊足の指輪x3	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
楽器(リュート)	○□□○□□
魔晶石x20	○□□○□□
羽根ペン	○□□○□□
インク	○□□○□□

羊皮紙	○□□○□□
B級カード(緑)x10	○□□○□□
A級カード(緑)x5	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
アンロックキーx3	○□□○□□

所持金 3497 G　預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点
2d+ 9	3

HP
29

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 6	2d+ 4

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 7	2d+ 7

MP
28

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	3	7			

	装備品	説明
頭	とんがり帽子	魔物知識+1
耳		
顔		
首	聖印	
背中		
右手	俊足の指輪	
腰	ブラックベルト	
足	組み紐	カラフルな組み紐
その他	アルケミーキット	

	装備品	説明
左手	剛力の指輪	

その他メモ

右頬にハイマンの特徴である魔法陣がある。

ハイマンの母とルロウド神官の父との間に生まれる。
母の口癖は『お前は、お父さんにそっくりだね。』そう言われるたびに複雑な感情になったが、その言葉から母が父を愛している事は良く分かった。
物心ついた時には父は旅に出ており顔も知らない。
母は体術の心得があり練体師として優秀な人物であったが、神の声を聴くことはできなかった。
しかし、その息子のルークは神官としての素養があり幼いながら、父が残した教会の神官となり母を助けていた。
短命の種族であるハイマンの母はルークが成人する前には他界しており、その時になっても帰ってこない父に、『裏切られた』という感情を抱かずにはいられなかった。
自分の父はどんな人物なのだろう？なぜ自分と母へ連絡もよこさないのだろう？そもそも、まだ生きているだろうか？そんな父への興味と

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟